

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
安部 直樹・嶋内 麻佐子・萩原 宏美			

講義概要	<p>①風炉薄茶点前を一人で出来る。</p> <p>②茶花について学ぶ。禅語について学ぶ。</p> <p>③大寄せの茶会の心得を学ぶことができる。茶会の客の作法を学ぶことができる。季節と客組みを学ぶことができる。</p> <p>④上座、下座を学ぶ。学んだ礼法を日常でも使うことができる。和室での立ち居振る舞いを身に付けることができる。</p> <p>⑤前年の茶道大会の映像を見て学ぶ。色々な役割を知ることができる。自分の役割の練習を行い茶道大会に参加する。</p>
授業計画	<p>1 風炉薄茶点前</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・禅語「清風万里秋」</li> <li>・茶会の流れの映像を見る (DVD)</li> <li>・風炉薄茶点前復習</li> </ul> <p>学習課題 (予習・復習) : 風炉薄茶点前の自主練習を行う</p> <p>2 着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・禅語「桂花露香」</li> <li>・ワンポイントレッスン「着物の種類」</li> <li>・着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る①</li> <li>・着物での立ち居振る舞いを体験する</li> <li>・懐紙、服紗、扇子の付け方を学ぶ</li> <li>・風炉薄茶点前練習</li> </ul> <p>学習課題 (予習・復習) : 風炉薄茶点前の自主練習を行う</p> <p>3 着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・禅語「行雲流水」</li> <li>・ワンポイントレッスン「上座と下座」①</li> <li>・着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る②</li> <li>・着物での立ち居振る舞いを体験する</li> <li>・懐紙、服紗、扇子の付け方を学ぶ</li> <li>・風炉薄茶点前練習</li> </ul> <p>学習課題 (予習・復習) : 風炉薄茶点前の自主練習を行う</p> <p>4 着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・禅語「別無工夫」</li> <li>・ワンポイントレッスン「上座と下座」②</li> <li>・着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る③</li> <li>・着物での立ち居振る舞いを体験する</li> <li>・懐紙、服紗、扇子の付け方を学ぶ</li> <li>・風炉薄茶点前練習</li> </ul> <p>学習課題 (予習・復習) : 風炉薄茶点前の自主練習を行う</p> <p>5 風炉薄茶点前</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・禅語「平常心是道」</li> <li>・薄茶点前のポイント確認</li> <li>・風炉薄茶点前練習</li> </ul> <p>学習課題 (予習・復習) : 風炉薄茶点前の自主練習を行う</p> <p>6 風炉薄茶点前</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・禅語「耕不尽」</li> <li>・ワンポイントレッスン「旧暦について学ぶ」 (1月～12月)</li> <li>・立礼見本点前</li> <li>・立礼点前練習</li> </ul> <p>学習課題 (予習・復習) : 風炉薄茶点前の自主練習を行う</p> <p>7 風炉薄茶点前・立礼点前練習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・禅語「放下着」</li> <li>・ワンポイントレッスン「四季と二十四節気 (春から冬)」</li> <li>・風炉薄茶点前・立礼点前練習</li> </ul> <p>学習課題 (予習・復習) : 風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う</p> <p>8 茶道大会パート別練習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・禅語「泥多仏大」</li> <li>・ワンポイントレッスン「出し服紗の畳み方・濃茶の飲み方」</li> <li>・茶道大会の濃茶水屋、接待、客点前などパート別の仕事内容を学ぶ (3パートを20分ずつローテーション)</li> <li>・客点前：出し服紗の使い方・濃茶の飲み方・主菓子の 頂き方</li> <li>・水屋：濃茶を練る</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接待：縁高や濃茶を客へ出す</li> </ul> <p>学習課題（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・接待：縁高や濃茶を客へ出す</li> </ul> <p>9 茶道大会パート別練習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・禅語「無功德」</li> <li>・ワンポイントレッスン「和食の基本」</li> <li>・茶道大会の立礼水屋、接待、客点前などパート別の仕事内容を学ぶ（3パートを20分ずつローテーション）</li> <li>・客点前：薄茶の飲み方・干菓子の 頂き方</li> <li>・水屋：薄茶を点てる</li> <li>・接待：懐紙にお菓子と薄茶を客へ出す</li> </ul> <p>学習課題（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う</p> <p>10 茶道大会で使用する道具について学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・禅語「徳不弧」</li> <li>・ワンポイントレッスン「会記について」</li> <li>・茶道大会の会場確認</li> <li>・茶道大会で使用する道具について学ぶ</li> </ul> <p>学習課題（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う</p> <p>11 茶道の歴史について合同講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶道の歴史について合同講義</li> <li>第3章 茶の湯に関わった人々（教科書P23～P28）</li> <li>第4章 鎮信流の茶（教科書P29～P33）</li> </ul> <p>学習課題（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う</p> <p>12 風炉薄茶点前・立礼点前練習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・禅語「知足」</li> <li>・ワンポイントレッスン「縁起物について」</li> <li>・風炉薄茶点前・立礼点前練習</li> </ul> <p>学習課題（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う</p> <p>13 初釜</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初釜（点前拝見・濃茶飲み方、主菓子取り方、食べ方）</li> <li>・初釜の道具組について説明を聞く</li> <li>・各班に分かれて新年の抱負を述べ、学習帳</li> </ul> <p>学習課題（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う</p> <p>14 薄茶点前練習・学習帳まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・禅語「一以貫之」</li> <li>・ワンポイントレッスン「正月飾りについて」</li> <li>・薄茶点前練習</li> <li>・学習帳まとめ</li> </ul> <p>学習課題（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う</p> <p>15 松芳忌</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松芳忌、礼拝練習</li> <li>・経歴紹介（映像にて）</li> <li>・献茶</li> <li>・教職員・学生礼拝</li> <li>・講話</li> <li>・松芳忌・アンケート・自己評価</li> </ul> <p>学習課題（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う</p>
授業形態	演習
到達目標	<p>①薄茶点前の割り稽古により、一人で薄茶点前ができるようになる。</p> <p>②季節の移ろいを感じるようになる。禅語の意味を理解するようになる。</p> <p>③茶会に関する基本的な知識を学び、理解を深めることができるようになる。</p> <p>④茶道点前を通して身に付けたマナーや作法を、学校や生活の中で役立てることができるようになる。</p> <p>⑤茶道大会に参加し、自分の役割は責任を持って果たすことを目標とする。</p>
評価方法	<p>①授業への参加意欲や授業態度</p> <p>②授業ごとの理解度を学習帳で確認する。</p> <p>③毎回の学習帳や最終回の感想文</p> <p>④薄茶点前の実技の評価の観点は、正確な薄茶点前が出来るか。道具を大切に丁寧に扱うことが出来るか。客点前はできているか。など総合的に評価する。</p>
評価基準	<p>関心・意欲・態度（茶道文化の授業に積極的に参加し、講義は真面目に受けているか。）授業態度：15%</p> <p>思考・判断（教科書や学習帳で予習、復習をし、講義の内容を分かりやすくまとめているか。）学習帳の利用：10%</p> <p>知識・理解（お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を得ているか。日常生活に役立てているか。）筆記試験：60%</p> <p>技能・表現（薄茶点前を正確にできるようになったか。茶道大会への参加状況）行動や感想：15%</p>
教科書・参考書	<p>テキスト：嶋内麻佐子著『茶道文化基礎編』</p> <p>テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。</p>
履修条件	茶道文化Ⅰを履修していること
履修上の注意	<p>茶室に来る時は、必ず白靴下を持参すること。（茶室は神聖な場所である）</p> <p>茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けること。（TPOを考える）</p> <p>毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておくこと。（自主学習）</p>

	授業開始5分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨むこと。(時間厳守)
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。
備考・メッセージ	<p>茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。</p> <p>①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。</p> <p>②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。</p> <p>③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。</p> <p>④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。</p> <p>⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。</p> <p>⑥日本の礼法を学びましょう。</p> <p>⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。</p> <p>⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。</p>